

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
平成 29 年度 第 5 回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成 30 年 2 月 26 日(月) 15:00～16:35

2. 場所：札幌第 1 合同庁舎 10 階第 2 会議室

3. 出席者 24 名

北海道開発局 (4 名)、北海道運輸局、札幌管区气象台、陸上自衛隊北部方面総監部 (3 名)、北海道、北海道立総合研究機構 (2 名)、札幌市 (3 名)、日本測量協会北海道支部、北海道測量設計業協会、北海道産学官研究フォーラム、北海道 G 空間情報技術研究会、北海道高度情報化農業研究会、スペーシャリストの会、国土地理院 (3 名)

4. 議事

- (1) 札幌市防災アプリ「そなえ」について
- (2) 国土地理院の災害対応と地理空間情報の活用
- (3) 第 1 回産学官協力懇談会の報告
- (4) 話題提供
- (5) その他

5. 配付資料

- (1) 事務局
 - ・議事次第、出席者名簿、第 4 回情報共有会合議事概要
- (2) 発表資料
 - ・札幌市の防災アプリができました (札幌市危機管理対策室)
 - ・国土地理院の災害対応と地理空間情報の活用 (国土地理院北海道地方測量部)
 - ・第 1 回産学官協力懇談会の報告 (北海道産学官研究フォーラム)

6. 議事概要

今回の会合では、次の 3 課題の発表を行った。

- (1) 札幌市危機管理対策室から、昨年 9 月 28 日に配信を開始したスマートフォン用防災アプリ「そなえ」について、タブレットを使用したデモンストレーションを交えた機能説明等の報告を行った。防災アプリについて、想定する利用者の年齢や多言語化対応、周辺自治体との連携等について質問があり、想定する利用者はスマートフォン利用者全般を対象としていて、多言語化は対応する予定があること、周辺自治体との連携等については今後の検討課題であるとの回答があった。
- (2) 国土地理院北海道地方測量部から、国土地理院が行う防災業務の概要と近年の主な災害対応の事例について報告を行った。地理院地図から提供されている写真判読による被災状況等の定義について意見があり、判読範囲や判断

基準等については誤解を招かないように伝えるための検討がなされているとの回答があった。

(3) 北海道産学官研究フォーラムから、2月9日に開催した第1回産学官協力懇談会の基調講演とパネルディスカッションの概要について報告があった。北海道開発局長の基調講演の第8期北海道総合開発計画に関連する話題として、10年計画より更に中期・長期的な課題について議論があったかとの質問があり、北海道の強みを活かした所得増加、類似した外国を参考とした検討、都市部以外の地域が住みやすくなることがマイナスをプラスに変えて行くことにつながるのではないかとの話題があったことが回答された。

7. その他

北海道産学官研究フォーラムから、「第7回産学官 CIM・GIS 情報交換会」、「北海道ドローン協会の講座」、「インターナショナル・オープンデータ・デイ (IODD 2018 SAPPORO)」、「小樽の地図と航空写真展」の案内があった。北海道高度情報化農業研究会から、「スマート農業セミナー」の案内があった。国土地理院北海道地方測量部から、イベントカレンダーに掲載するイベント情報の募集について案内があった。

平成30年度第1回情報共有会合は、5月下旬に開催予定。